「油ヶ淵」の名前の由来

むかしむかし、油ヶ淵がまだ内海であった頃、今の応仁寺（碧南市油渕町）の前に貧しく身寄りのない母子がすんでいました。岬の一軒家に住む子供は漁師であり評判の親孝行者で、母は非常に子煩悩で貧しいながら平和に暮らしておりました。

母は夜沖合いで漁をする息子の身を気遣い、神仏に無事を祈っていました。その甲斐あってか、息子が漁に出た夜は、岬の端に明るい燈明（とうみょう）が輝くようになりました。

人々は淵の主である龍が娘に姿を変え、油を買い、あかりをともしたのであろうと噂するようになり、この岬を油が崎というようになり、そして幾年か後には淵の名を油ヶ淵と呼ぶようになったと伝えられています。

川船（カワムシ）
（安城市歴史博物館所蔵）

油淵碑（油ヶ淵遊園地）

油ヶ淵水辺公園の豆知識

Q.どうして「ハス池」があるの？
A.花しょうぶ園（碧南市）の向かいにある応仁寺にゆかりのある蓮如上人にちなんでハス（蓮）を植えました。ちなみにハス池の形は油ヶ淵の形に似ているよ。

Q.「桃の園」ではモモが食べられるの？
A.碧南市西端地区は昭和の初め頃まではモモの名産地でした。それにちなんで桃の園としているけど、ここに植えてある木は花を観賞するハナモモだよ。実はとても小さくて食用には向かないよ。

Q.「水遊び場」の周りの白い壁はどうしてうねっているの？
A.油ヶ淵の主は龍であるとの言い伝えがあって、白い壁は龍をイメージして作られているからうねっているのだよ。ちなみに私が油ヶ淵で見たうねっているものは、龍ではなくウナギだったけどね。

水遊び場

Q.「田んぼビオトープ」ってどんなビオトープ？
A.稲作体験ができる田んぼの部分と、水辺の生き物観察ができるビオトープの部分があるよ。ここの田んぼでは無農薬・冬期湛水・不耕起栽培をしていて、生き物の生息、油ヶ淵への濁水流出防止に配慮しているよ。

Q.「ぷらリン広場」ってどんな意味があるの？
A.油ヶ淵の“ぷら”と三河弁の語尾に使う“りん”を組み合わせた名前で、誰もがぷらっと来て遊べる広場となるように願ってつけた名前だよ。

Q.「大型屋外休憩所」の屋根は変わった形をしているね？
A.羽を休める鳥の形で、公園付近でよく見かける“アオサギ”をイメージしているよ。灰色の羽の大きな鳥がいたら頭の形を見比べてみてごらん。

大型屋外休憩所

施設利用について

●禁止事項について

- バーベキューや花火などの火気類の使用。
- 車道以外での車の走行（自転車は除く）。
- 洗車。
- 駐車場開門時間外の駐車。
- 植物などの採取、釣りなどの捕獲行為、野鳥や魚などへのエサやり。
- ドローン、ラジコンヘリなどの飛行。
- ゴルフの素振りなどの練習、スケートボード、エアガンの使用などの危険な行為。
- 無断での行商・募金・ロケーション・興行・集会などの行為。

●公園のマナーについて

- 来園者がお互い楽しく利用できるよう、マナーを守りましょう。
- 他の利用者の迷惑となる行為や危険な行為はしないでください。
- ゴミ・空缶類は、各自お持ち帰りください。
- 犬などのペットのフンは、飼い主が責任をもって片付け、持ち帰ってください。
  また、リードは必ずつないでください。
- 指定された場所以外での喫煙はご遠慮ください（受動喫煙防止）。
- 植物を大切にし、傷つけないようにしましょう。

●駐車場の利用について　※駐車場でのトラブルなどは、責任を負いません。

開門時間	7時～19時（3～9月） 7時～18時（10～2月）		
駐車台数	普通車	身障者用	大型車用
自然ふれあい生態園	162台	4台	10台
水生花園	54台	3台	0台

交通案内

県営都市公園

油ヶ淵水辺公園

指定管理者：公益財団法人 愛知県都市整備協会
油ヶ淵水辺公園管理事務所
〒447-0083　碧南市油渕町２丁目33　電話 0566-41-1515

愛知県知立建設事務所
〒472-0026　知立市上重原町蔵福寺124　電話 0566-82-6463

2023.3

公益財団法人 愛知県都市整備協会
Aichi Urban Development Association